

賀茂小学校の ESD 活動

＜活動の概要＞

「ずっとつなごう ぼくらの町・賀茂 ～地域に誇りと愛着をもつ賀茂っ子の育成～」を活動テーマとして、地域をみつめ・地域の暮らしを知り、地域に学び、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育を進めている。地域と連携した学習を系統的に行うとともに持続可能な発展のための教育（ESD）を推進することを通して、郷土を愛する健やかな子どもの育成を目指している。

本校は、「環境保全」と「地域の暮らしと歴史」の観点から、自分たちの地域の環境や暮らしと歴史を調べることで、地域に誇りをもち、持続可能な将来が実現できるような価値観と行動力を培っていきたいと考えている。

・活動の実際

① 地域教育ボランティアと取り組む農業体験（全校）

豊橋市の北西部に位置する本校区は、田畑が広がり自然豊かなところである。そこで、地域教育ボランティア「親ガモの会」のかたに学びながら、野菜づくりや米づくりに取り組んでいる。縦割り班で、サツマイモの栽培に取り組み、1～3年生は、夏野菜や冬野菜について学習した。よい苗の選び方や日々の世話の仕方について、「親ガモさん」に質問したり、作業を手伝っていただいたりしながら、栽培を行うことができた。5年生は、米づくりを追究した。田植えの仕方、稲刈りや脱穀までの稲作体験を通して、伝統や食について学び、今の生活を振り返り、よりよい生活を考えることができた。



脱 穀

② 校区を流れる豊川と、その支流の間川の環境調査と保全活動（4年）

4年生は、校区を流れる豊川・間川の自然環境と豊川の下流や上流の環境を比較・調査しながら、環境保全の大切さに気づき、地域の環境美化と保全意識を高める活動に取り組んでいる。豊橋市河川課の出前授業で川の役割や水質検査の仕方を学び、間川に出向いて水質調査を行った。



水質調査

③ 地域の伝統文化や歴史にふれる活動（全校）

賀茂は、賀茂神社を祭ることとなった1300年ほど昔より「賀茂」と呼ばれ、豊川に抱かれた校区である。賀茂の自然や歴史について関心を高めるために、「ウォークイン賀茂」を実施している。縦割り班で、校区を巡りながら、自分たちの住む地域に興味をもつことができる活動である。また、6年生は、「賀茂の歴史と賀茂の人たち～過去・現在、そして未来へ～」と題して問題解決学習を行っている。地域の暮らし、伝統、歴史を学び、賀茂を支えている人々の生き方を考えることで、今の賀茂を守り、未来につなげていくために、自分たちができること、そして、どのように賀茂を支えていけるのかを考えることができた。

④ ホタルの飼育活動（4年）

ホタルの飼育活動を4年生が中心となって行っている。環境保全のシンボルとなるゲンジボタルの飼育活動を通して、地域の環境への関心と保全の意識を高め、地域に対する誇りと愛着心を育んでいる。令和6年度は、約800匹の幼虫を放流した。

ホタルの幼虫放流

